

～DJSI 及び CDP 評価結果に関するお知らせ～
**「DJSI World」構成銘柄に初選定
CDP 気候変動 最高評価「A リスト」に認定**

三菱地所株式会社（以下、「当社」）は、世界的な ESG（環境・社会・ガバナンス）投資指標である「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI^{※1})」の「DJSI World」構成銘柄に初選定されるとともに、「CDP^{※2} 気候変動質問書 2022」において最高評価「A リスト」企業に認定されました。

当社は、「長期経営計画 2030」において、社会価値向上戦略として「三菱地所グループの SDGs 2030」を策定し、4つの重要テーマ「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」「Resilience」について KPI や個別のアクションプランを定めて取り組んでいます。「Environment」においては、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガスの排出削減目標を大幅に見直し、日本企業として初めてネットゼロ新基準に沿った SBT 認定を本年 6 月に取得したことや、丸の内・首都圏の保有ビルを中心に再生可能エネルギー電力導入等により目標達成に向けた排出量削減を達成できたこと等が高い評価を受けました。

「Diversity & Inclusion」についても、サプライチェーンマネジメントの強化、女性管理職比率をはじめとした KPI の設定や目標の引き上げ、人事データ開示の拡充等に注力しています。

■Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) 評価

米国 S&P グローバルが組成・運用を行う ESG 投資指数 DJSI の「DJSI World」の構成銘柄に、初めて選定されました。世界の時価総額上位 3500 社の中から持続可能性に優れた企業の上位 10%が選定されるもので、2022 年は、全世界で 332 社（うち日本企業は 36 社）が選定されています。また同時に、アジア太平洋地域版「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄にも 3 年連続で選定されています。これはアジア太平洋地域における評価トップ 20%の企業が構成銘柄として組み込まれるものです。

なお、国内の総合不動産会社^{※3}が「DJSI World」の構成銘柄に選定されることは初であり、かつ今年度は当社が唯一の選定企業となっています。

※3 総合不動産会社：DJSI の Industry Group において「Real Estate」に分類される企業を指す。

■CDP 気候変動質問書 2022 評価

英国の国際的な環境非営利団体 CDP による、2022 年気候変動に関する調査において、最高評価の「A リスト」企業として認定されました。情報開示の透明性とパフォーマンスによるリーダーシップが認められたものです。スコアリング対象となった約 15,000 社のうち、283 社（うち日本企業 74 社）が気候変動 A リストに選ばれています。

なお当社は気候変動のほかすべての分野の調査に回答しており、水セキュリティでは A-、フォレストでは B の評価を受けています。

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



三菱地所グループは、今後も、「三菱地所グループのSDGs 2030」で掲げる重要テーマに関する取り組みを着実に実践することで、長期経営計画 2030 に掲げる「社会価値の向上」、ならびに持続可能な社会の実現を目指したサステナブルなまちづくりを推進してまいります。

また、個別の取り組み推進に加えて、適切かつ明瞭な情報開示を行うことで、各種 ESG 調査・ベンチマークや投資家を始めとする多くのステークホルダーの方々からの評価、ならびに企業価値の向上を目指します。

- ・三菱地所グループ サステナビリティサイト

<https://mec.disclosure.site/j/sustainability/>

- ・三菱地所グループ サステナビリティレポート 2022

<https://mec.disclosure.site/j/sustainability/report/>

- ・三菱地所 統合報告書 2022

<https://www.mec.co.jp/j/investor/irlibrary/annual/pdf/integratedreport2022.pdf>

【注釈】

※1 DJSI :

1999 年に開発。世界の上市企業を経済・環境・社会の 3 側面から総合的に分析する ESG 調査「コーポレート・サステナビリティ評価 (CSA)」を基に、優れた企業を選定するもの。

※2 CDP :

2000 年に設立。運用資産総額 130 兆米ドルを超える 680 以上の投資家と協力し、企業による気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、対策を促すことを主たる活動としている。2022 年は、世界の時価総額の半分に相当する 18,700 社以上、1,100 以上の都市、州・地域を含む、約 20,000 の組織が CDP を通じてデータを開示。CDP では、気候変動、水セキュリティ、フォレストに関する情報開示とアクションにおいて 8 段階で評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「A リスト」に認定している。

【参考】他 ESG 株式指数等の選定状況について

■ GPIF が採用するインデックスに選定

世界最大の年金基金である GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) は、以下 5 つの ESG 株式指数を採用し、同指数に連動するパッシブ運用を行っておりますが、当社は、5 つ全ての指数に構成銘柄として継続的に選定されています。

- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

■GRESB リアルエステイト「5 スター」取得

不動産会社・ファンドを対象とした世界的な ESG 評価である「GRESB リアルエステイト評価 2022」について、既存物件ポートフォリオに関する評価である「GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」において、総合スコアのグローバル順位で上位 20%に与えられる最高位「5 スター」を 3 年連続で取得しています。